

「私の推し本、紹介します！」～読んでみたい！を引き出す紹介文をつくろう～

年 組 番 氏名： _____

推敲シート①（第3時使用）

読み手になったつもりで、自分が書いた紹介文を読んでみましょう。

1. 自分が一番伝えたいことを書きましょう。

2. 読み手になって考えてみましょう。あてはまる項目を選びその理由を書きましょう。

- A：大変そう思う【理由：（例）〇〇な工夫をしたから。】
B：だいたいそう思う【理由：（例）〇〇を工夫したが、▲▲の部分が不十分だと思ったから。】
C：あまりそう思わない【理由：（例）▲▲の部分が不十分だと思ったから。】

①読み手に一番伝えたいことは伝わりそうか。	A・B・C	（理由）
②読み手が興味をもちそうか。	A・B・C	（理由）
③読み手の『読んでみたい！』を引き出す工夫があるか。	A・B・C	（理由）
④その他（チェック項目を考えてみましょう。）	A・B・C	（理由）

3. 推敲②に向けて考えてみましょう。

今の紹介文で一番気になっているところ	
友達に聞いてみたいこと	
次の時間に確かめたいこと	

読み手の反応をもとに、自分が書いた文章を推敲しましょう。

1. 読み手の反応

（ ）さんのコメントや反応

（ ）さんのコメントや反応

気付いたこと



2. 一番推敲したいところはどこですか。

3. なぜ推敲したいと思ったか、理由を書きましょう。

4. どのように修正したら「読んでみたい！」を引き出す紹介文になりますか。

【発展編】

1. 読み手の反応から気づいたことは何ですか。
2. 一番推敲したいところはどこですか。
3. どのように直しますか。(推敲内容)
4. 推敲することで、どんな効果をねらいますか。

発展編として…

「読んでみたい！」を引き出す」だけでなく、推敲のねらいを生徒自身が設定して、推敲する活動もおもしろいですね。

